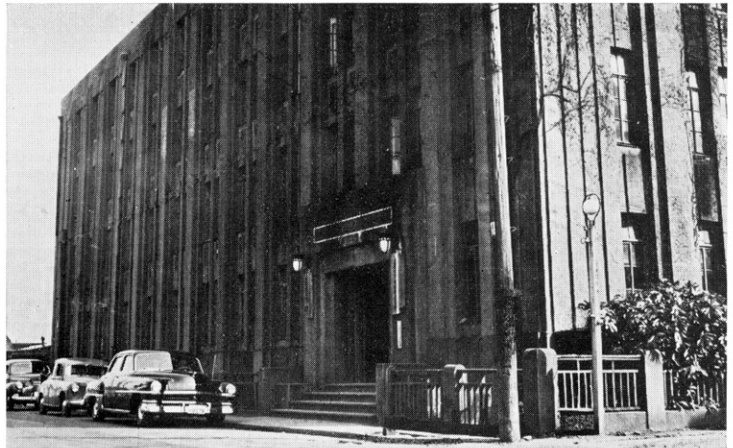


地質 ニュース

NO. 56 1959-4

地質調査所

昭和34年度 事業計画 について



地質調査所東京分室 (東京都新宿区河田町8)

国土の有効利用とその保全は 地質・地下資源に対する幅広い調査研究と編さんを通じて始めて可能になるといふ観点にわれわれは立っている。このような目的に沿って34年度の実業も次のように計画されている。

特別研究費等による調査研究 (件数)		経常研究費による調査・研究・編集 (件数)	
特定地域5万分の1地質図幅調査	10	5万分の1地質図幅調査	26
地熱開発調査	2	応用地質調査研究	13
天然ガス調査	6	石炭調査研究	19
海陸地帯の総合調査	8	石油調査研究	13
工業用水の保全等の調査	8	金属および硫化鉄調査研究	20
深部物理探査法に関する調査研究	3	非金属調査研究	9
低品位鉄鉱調査	14	物理探査および地球化学等の研究	11
ドロマイト(苦灰岩)資源調査	6	特殊地質図等の編集	約8
新潟地区地盤沈下に関する調査研究	—	中小鉱山技術指導業務	—
核原料物質調査研究	約55		

なお 34年度から新たにとり上げられる調査・研究は ① ドロマイト資源調査 ② 赤鉄鉱・磁鉄鉱・菱鉄鉱等の低品位鉄床に関する低品位鉄鉱調査 ③ 深部物理探査法についての研究 ④ 新潟市地盤沈下に対する原因究明を目的とする地質的調査などである。また 核原料物質調査は 第1期3カ年計画を終了し 34年度には堆積型鉄床の調査研究を主目的とした従来の成果の取りまとめと 新たな第2期調査計画の準備的業務を行う。従来特別研究として実施してきた カリ肥料原料調査 珪灰石・珪酸マンガン鉄調査 含チタン砂鉄・磁硫鉄鉱調査の大部分は 33年度をもって終了することとなった。

以上34年度の調査研究予定地については本文2頁に「昭和34年度調査研究予定地一覧図」として掲げ御参考に供します

昭和34年度調査予定地一覽図

(注) 1. 核原料資源・研究調査は除く
 2. 調査予定地は予算その他の都合により変更されることがある

凡例

- 幅 石 炭
- 金属 ◆ 天然ガス
- 非金属 ▲ 応用地質
- ※ 石油 ⊗ 工業用水
- 特別研究

